

通学路の安全確保の現状と課題

倉部 光世（市民ネット）



千葉県八街市の事故を受け通学路の安全性を再確認する必要がある。通学路には交通・防犯・防災のリスクがあり常に変化するため、絶えず点検する必要性がある。

Q 危険箇所の取りまとめの実施状況と公表の必要な危険箇所についての対応は。

A 毎年地域、学校、行政、警察等連携して実施している通学路安全点検で、今回の国からの点検依頼に対応中。「通学路危険箇所マップ」をホームページで公表を予定している。

Q 豪雨災害等による防災上の危険箇所の点検状況と将来に向けての改善対応は。

A 関係機関で連携、共有を図りながら長期的な視点で改善に向けた協議を継続していく。

Q 学校として通学路を変更する際に考慮している点は。

A 安全を最優先に考え地元を熟知している方の意見も参考に総合

的な観点で最も合理的な通学路を選択する。

Q 更なる交通安全に対するマナー向上の啓発活動、WHO推奨のセーフコミュニティ認証等、今後の対応は。

A 歩行者が交通安全を守る行動や、自動車運転者による歩行者優先の「思いやり・ゆずりあい」意識、交通マナー向上に取り組む。認証については研究していく。

他に「実効性のある防災対策と女性の防災組織への参画」、「学校現場での防災教育」について質問しました。



六郷小学校の通学路

環境や災害に配慮した駅北開発

小林 博文（みどり21）



Q 自由通路、駅舎、北口駅前広場の各設計の進捗状況は。

A 自由通路、駅舎の概略設計は本年九月末、北口駅前広場の実施設計は来年三月が納期となっている。概略設計がまとまった段階で議会へ説明する。

Q 駅北側の新市街地整備の状況は。

A 駅からの徒歩圏内であり、将来のまちづくりとして大きな可能性がある。現在、土地所有者や地元代表者と協議している。地権者にアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえ引き続き進めていく。

Q 構想地区に、市民の憩いの場となる施設の考え方、商業施設等の誘致への支援策は。

A 憩いの場は良好な住環境へも重要であり、公園等の施設を含め協議していく。商業施設等誘致では、土地所有者や地元代表者の意見を聴きながら、にぎわいにつながる施設を誘致したい。

Q 構想地区のインフラ整備について。上下水道、電線の地中化、治水対策は。

A 上水道は市全体として試算で概ね五万五千人へ供給可能。下水道は、現在、認可区域外のため接続は考えていない。電線の地中化は、開発の詳細決定の段階でコスト面も含め検討する。治水対策は、法に基づく基準により調整池等を整備するが、近年の気象状況を踏まえて更なる対策を検討する。

他に「スポーツの力で地域親睦と健康を」について質問しました。



菊川駅周辺の様子